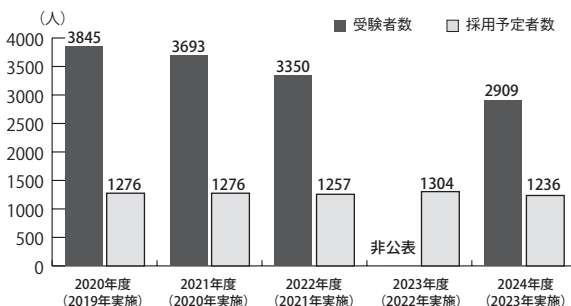


福岡県

面積	4,988 km ²
人口	5,099,194人
県の花	うめ
県の木	つつじ
県の鳥	うぐいす

求める教員像	①子どもが憧れる人間的魅力 ②子どもに対する広く深い愛情 ③教師としての強い使命感
出願期間	公開日 3月22日(金) 電子申請 4月1日(月)~4月30日(火)
試験日程	1次試験 試験日 6月16日(日) 合格発表日 7月9日(火) 2次試験 試験日 8月上旬~下旬 合格発表日 9月中旬
年齢制限	昭和38年4月2日以降に生まれた者
募集教科	[小](一般)(英語有資格者) [中]国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 [高](県立)国語, 地理歴史(歴史, 地理), 公民, 数学, 理科(物理, 化学, 生物), 保健体育, 音楽, 美術, 書道, 家庭, 農業, 工業, 商業, 情報, 英語(久留米市立)国語 [特](小)(中)[中]の教科と同じ(高)国語, 地理歴史(歴史, 地理), 公民, 数学, 理科(物理, 化学, 生物), 保健体育, 音楽, 美術, 家庭, 情報, 英語 [養] [栄]
特記事項	<p>■特別選考 ●現職教員特別選考 [小(一般)・中・高(県立)・特・養・栄]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除、2次は個人面接のみ([高(県立)]志願者は、1次の専門と2次の模擬授業も実施)。</p> <p>●元県内正規教員特別選考 [小(一般)・中・高(県立)・特・養・栄]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除、2次は個人面接と模擬授業のみ。</p> <p>●スポーツ成績優秀者特別選考 [高(県立)]保健体育志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除、2次は個人面接と模擬授業のみ。</p> <p>●高度専門職経験者特別選考 [中]理科, 技術, 英語, [高(県立)]理科(物理, 化学, 生物), 工業, 情報, 英語志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。</p> <p>●教職大学院修了(予定)者特別選考 [小・中・高(県立)・特・養・栄]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。</p> <p>●大学等推薦特別選考 [小・中・特]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。</p> <p>●大学3年生チャレンジ特別選考 [小・中・特]志願者で、規定の要件を満たす者は、大学3年生等次に1次を受験可能。[小(英語有資格者)]志願者は、専門の「英語に関する試験」を免除。</p> <p>●障がいのある人を対象とした特別選考 受験に際して配慮を必要とする場合は、障がいの程度に応じて対応。</p> <p>■特例 a.現職者 1次の教職・一般を免除。[中]技術, 家庭志願者は1次の専門も免除。b.正規教諭・講師等経験者 aと同じ。c.国際貢献活動経験者等 aと同じ。d.英語有資格者A [中([高]併願者を除く)・特(中)]英語志願者で、規定の資格所有者は、1次の専門と英語リスニング及び2次の英語面接を免除。e.英語有資格者B [中([高]併願者)・高・特(高)]英語志願者で、規定の資格所有者は、1次の専門と英語リスニングを免除。f.第1次試験合格者 前年度1次合格者で、個人面接等の評価が基準以上の者は、1次を免除。g.社会人経験者 試験内容は一般選考と同じ。免許状を令和9年3月31日までに取得見込みの者も受験可。</p>

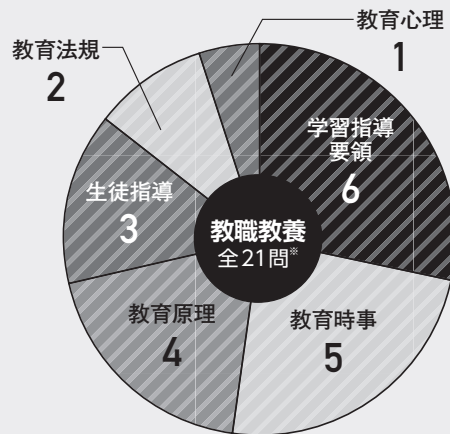
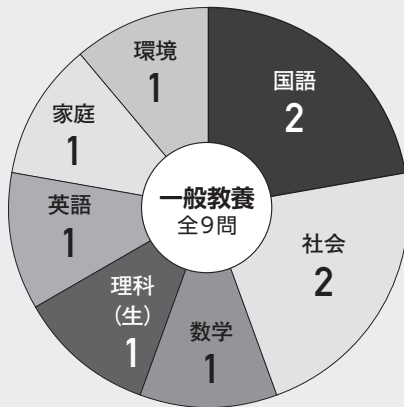
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	12,943	3,276	353
不登校(人)	5,813	9,418	2,641

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



※全21問のうち10問は校種別による選択

- ▶ 要注意の「生徒指導提要」
- ▶ 人権教育は「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」
- ▶ 人文科学は国語(四字熟語等)と英語(会話文)、家庭(消費者生活)

〈教職教養〉のうち、**学習指導要領**では総則、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動からまんべんなく出題されている。今年度、中学校教員、養護教員、栄養教員については学習指導要領解説特別の教科道徳編、特別活動、学習指導要領解説総合的な学習の時間編が出題された。高校教員では総則、総合的な探究の時間が出題されている。

教育原理(特別支援教育、人権教育等)のうち、特別支援教育では、「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告」(2023年)が出題された。人権教育では、必出の「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」(2008年)、頻出の部落差別の解消の推進に関する法律が出題されたほか、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律や福岡県の人権教育関連条例も出題されている。

生徒指導では必出の「生徒指導提要」(2022年)から生徒指導の構造や生徒指導の方法に関する問題等が出題された。

教育時事では、「教育振興基本計画(閣議決定)」(2023年)や「第3次学校安全の推進に関する計画」(2022年)等が出題された。

教育法規では必出の憲法が出題された。また、頻出の教育基本法や地方公務員法、学校教育法、いじめ防止対策推進法等も出題されている。

教育心理ではさまざまな領域から出題されている。今年度は心理療法(精神分析療法、来談者中心療法等)の理解を問う問題がみられた。主要な理論とその特色、提唱者を幅広く押さえておくことが必要だ。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では例年、国語(四字熟語、格言・ことわざ)と英語(会話文)、家庭(消費者生活)を中心とした出題となっており、今年度も同じような傾向であった。**社会科学**では政治を中心として出題されている。今年度は、政治から憲法や地方自治の理解を問う問題等が出題された。**自然科学**では例年、数学と理科全般、環境から幅広く出題されており、今年度も同様であった。